

防犯かけこみ110番の店

危険を感じたら駆け込んで

市と「成田警察署管内コンビニエンス・ストア防犯協会」、「千葉県石油商業組合成田支部」との間で12月16日、「防犯かけこみ110番の店」に関する覚書が締結されました。「防犯かけこみ110番の店」は、大人も子どもも、危険を感じたときに助けを求めることができるように、市内のコンビニエンスストアやガソリンスタンドに設置されます。協力店舗はステッカーや看板を店頭に掲示し、被害者の一時保護・警察への通報などに協力してくれます。小中学校の通学路などにある「こども110番の家」と合わせて近所や通勤・通学路に設置された「防犯かけこみ110番の店」の位置を確認しておき、危険を感じたときには迷わず助けを求めてください。



立て看板(左・ガソリンスタンド)とステッカー(右・コンビニエンスストア)が目印



12月16日に行われた覚書調印式

スポーツ少年団駅伝交流大会

元気いっぱい
たすきリレー

スポーツ少年団66チームが参加し、恒例の「駅伝交流大会」が12月21日、中台運動公園で開催されました。それぞれのユニホーム姿の選手たちは、元気いっぱいにたすきをリレー。見守る大勢の家族・チームメイトからは温かい声援が送られました。優勝は成田SSSフェニックス(6年)でした。



チームメイトや家族から声援が飛ぶ



風邪をひきませんように

桜田の大火

火柱の間を勢いよく

年末の伝統行事「桜田の大火」が12月16日、同地区熊野権現神社で行われました。山々で集めた薪に火を付けると高さ3mに達する巨大な火柱が出現。地元では、この炎の間を年齢の数だけ通り抜けた子どもは一年間風邪をひかないと伝えられています。「熱い!」「怖い!」と声を上げながら、集まった子どもたちは皆、元気よく走り抜けました。

受け継がれる 100年のバトン

創立100周年を迎えた久住第一小学校で11月23日、記念式典が開かれました。式典では、学校長式辞や来賓祝辞に続き、記念事業実行委員会が学校にクスノキの記念植樹の目録を、全校児童に記念品のクリアファイルやえんぴつを贈呈。また、6年生の高橋慎吾さんが「100年という伝統のバトンをずっと引き継ぎ、学校や地区をみんなで大切にしていきたいです」と児童代表の言葉を述べました。式典後にはアトラクションも行われ、成田国際高校吹奏楽部が迫力ある演奏を披露し、祝賀ムードを盛り上げました。



成田国際高校吹奏楽部と全校児童による合唱

子ども館工作教室

リースにいろいろ飾り付け

「正月かざりを作ろう」と題した工作教室が12月13日、子ども館で開催されました。参加した子どもたちに用意されたのは、サツマイモのつるで作ったリース。これを松ぼっくりや色紙で思い思いに飾り付け、お正月っぽくアレンジします。かわいらしいものからユニークなものまで、子どもならではの作品がたくさん出来上がりました。



見て。これもかわいいよね



お礼の言葉を述べる野平さん



絵本の贈呈を受ける東さん

ユネスコ環境絵本贈呈式

自然を育む心のために

ユネスコ環境絵本「サクラソウのひみつ」の贈呈式が12月8日、市役所中会議室で行われました。この絵本は、(社)日本ユネスコ協会連盟が実施している環境教育事業の一環として、主人公であるマルハナバチの物語を通して、子どもたちに自然を大切にする心を育んでもらおうと刊行されたものです。贈呈式には市内の小学校・保育園・幼稚園を代表して、豊住小学校の野平咲実さんと、つのぶえ保育園の東菜央さんが出席し、成田ユネスコ協会の橘内会長から笑顔で絵本を受け取りました。